学校番号	

令和三年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生物基礎　改訂版（啓林館）						
副教材等	第４版　リードライトノート（数研出版）ニューステージ生物図表（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々は身の回りの自然に触れつつ、授業においては見通しをたてて観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育むことが重要である。「細胞」、「遺伝子」、「恒常性」「生態系」という４つの視点で何が見えてくるのかに着目し、「生物」を学びながら、未来に向けて我々がするべき事柄を見いだすことも重要である。

２ 学習の到達目標

生物は細胞からなる。細胞には、個体が生きていくために協働して働くための仕組みが備わっている。代謝、遺伝、恒常性のそれぞれの基本的な働きを学ぶことで、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身に付ける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テストの点数 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テストの点数 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の環境応答	ニューロンの構造 神経系の構造	○				a:生物の環境応答について興味をもち、刺激の受容から反応までに関わる期間の構造を理解しようという意欲が見られる。 b:興奮の伝導と伝達の違いについて、正しく理解する。 c: ヒトの目や耳の構造について、実験を通じて理解する。 d:目や耳に代表されるヒトの受容器のはたらきや特徴を理解する。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート・小テスト 観察・実験 定期考査
		興奮の伝導と伝達		○				
		刺激の受容			○			
		様々な受容器				○		
2学期	生物の環境応答	生得的行動	○				a: 動植物の環境応答について関心をもち、理解しようする態度が見られる。 b:環境が植物におよぼす影響と、それに対する応答について、関心をもち、意欲的に探究しようとする。 c:植物ホルモンと環境応答の関係について、実験を通じて理解を深める。 d:植物の生涯を通じて環境と応答に関係する植物の分子生理機能について理解し、造形を深める。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート・小テスト 観察・実験 定期考査
		学習的行動	○					
		植物ホルモン	○		○			
		植物の発芽と成長		○				
		植物の花芽形成		○				
		植物の老化				○		
3学期	生物の多様性と生態系	さまざまな植生	○				a: 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。 b:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 c:生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:「生物の多様性と生態系」に関する探究活動として水生植物および渡り鳥など身近な野鳥の観察を行うなかで、自然に対する造詣を深める。	学習状況 ノート・ワークシート・小テスト 定期考査
		気候とバイオーム		○				
		生態系と物質循環			○			
		生態系のバランス			○	○		
		生物の多様性と生態系に関する探究活動			○			

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目で重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)に○を付けている。